

2026年5月31日

報道関係各位



ねこのフォーラム実行委員会



Animal Hospital HEADLINE  
News

実行委員長・代表取締役 小澤智雄

## 目指せ！猫 AIM 薬の早期承認

～100万人（目標）の声を届ける署名活動を開始！～

動物病院業界メディアである Animal Hospital HEADLINE News は動物病院業界の最新情報や経営に役立つ情報、獣医療の研究動向などのホットトピックを配信するメディアです。

近年は都市部を中心にマンションの増加など居住環境の変化やコロナ禍での巣ごもり需要から、猫の飼育頭数が増加、現在では1,000万頭に迫り、ネコノミクスとも呼ばれるペット関連市場が成長を続けています。そのような中、当メディアでは、2024年から、より良い人と猫との共生社会の実現を目指し、猫に関連する研究者・臨床獣医師・産業界・行政・保護団体等の方々をつなぐ「ねこのフォーラム」を開催してまいりました。

この度、ねこのフォーラムでは、猫に非常に多い腎臓病の治療薬として大きな期待が寄せられる猫 AIM 薬について、その1日も早い実用化を後押しするため、100万人のオーナー様と早期承認を目指した署名活動を行うことといたしました。

なお、本署名活動については、ねこのフォーラム及び当メディアが自主的に行うものであり、猫 AIM 薬創薬企業及び発見者である宮崎徹博士とは一切関連を持たないものであります。

### 1. 背景 猫は腎臓病になりやすい

国内で飼育される猫は約1,000万頭にのぼり、いまや犬を上回る数が、家族の一員としてかけがえのない存在となっています。一方で、猫は加齢とともに腎臓の機能が低下しやすく、腎臓病は高齢の猫の約4割が罹患するとされています。近年は飼い猫の高齢化も進んでいることから、腎臓病への対策はこれまで以上に多くのご家族にとって切実なテーマとなっています。

さらに、猫の死亡原因の第1位は泌尿器系の疾患で、その割合は最新の統計で、約3割とされています。加齢とともにその比率は高まっており、腎臓・泌尿器の問題が、いかに猫の命に直結しているかが見て取れます。

猫が腎臓病になりやすい背景には、その祖先が乾燥地帯で暮らしていたことから、少ない水分で老廃物を排出するために尿を濃く凝縮する体のしくみがあり、腎臓に負担がかかりやすいと考えられています。初期は多飲多尿などの分かりにくい変化にとどまることが多く、飼い主様が気づいたときにはすでに進行していることも少なくありません。

これまでの獣医療では、腎臓病は輸液や食事療法などの対症療法によって進行を緩やかにすることが中心でした。病気の進行そのものを根本から抑える治療法は、長らく存在しなかったのです。多くの飼い主様にとってなすすべのない病気でしたが、この現実を変えらるるとして期待を集めるのが、猫 AIM 薬です。

## **2. AIM とは**

AIM (Apoptosis Inhibitor of Macrophage) は、血液中に存在し、体内にたまった老廃物に目印を付けて除去を促すはたらきを持つタンパク質です。猫 AIM 薬は、AIM の発見者である宮崎徹博士が 25 年以上にわたって重ねてこられた研究の成果が形になったものといえます。

これまでの研究で、猫をはじめとしたネコ科動物では特にこの AIM が血液中の抗体 (IgM) と強く結びついたままになり、必要なときに遊離して十分にはたらくことができないことが分かってきました。これが猫に腎臓病が多いことの一因と考えられており、AIM を薬として体外から補うことで腎臓のはたらきを助け、病状の進行を抑制する効果があるとされています。

この猫 AIM 薬について、2026 年 4 月 24 日、宮崎博士が代表取締役を務める創薬企業・株式会社 IAM CAT が、農林水産省へ動物用医薬品として製造販売承認申請を行いました。承認が実現すれば、世界で初めて猫の腎臓病の進行を抑制する治療薬となります。

※宮崎徹博士：元・東京大学大学院医学系研究科 教授／一般社団法人 AIM 医学研究所 代表理事・所長／株式会社 IAM CAT 代表取締役

### 3. 「100万人の署名」について

承認申請後の審査には一定の時間を要します。そこで、私たちは多くの腎臓病の猫やその家族が腎臓病に向き合いながら猫 AIM 薬を期待して待っておられます。私たちは、一刻も早く承認がなされるよう、この猫 AIM 薬の早期承認を求める署名活動を行うことといたしました。

まずは 100 万人のオーナー様の署名を集めることを目標に開始いたします。

集まった署名は、動物医薬品を所管する農林水産省へ提出することを予定しており、「待っている飼い主がこんなにもいる」という社会的な期待・必要性の大きさを示し、審査が円滑かつ迅速に進むことの後押しとなればと考えております。

1 人でも多くの方のご参加が、1000 万頭の猫を、そして一緒に暮らす人々の未来を変え、さらにその先には人の腎臓病をはじめとするさまざまな疾患への応用も期待されていることから、私たちは、猫の医療の前進が人の医療の発展にもつながることを願い、本署名活動や一連の取組を進めてまいります。

#### ■ 署名活動の概要

開始日 : 2026 年 5 月 31 日

提出時期 : 2026 年 12 月中 (予定)

提出先 : 農林水産大臣、農林水産省幹部職員

目標数 : 100 万人 (※目標数に達しない場合でも、署名いただいた皆様の声をしっかり届けるため署名提出は行います。)

対象 : どなたでもご署名いただけます。

参加方法 : 下記署名サイトよりお名前等をご入力ください。

署名サイト : <https://nekonoforum.net/>

※SNS・ご友人を通じた拡散にもご協力をお願いいたします。



※署名サイトのイメージです。

#### 4. 「ねこのフォーラム」について

「ねこのフォーラム」は、Animal Hospital HEADLINE News を運営するアニマルホスピタルヘッドラインニュース株式会社が中心となり実行委員会形式で主催するフォーラムです。

「ねこのフォーラム実行委員会」は、猫と人がともに健やかに暮らせる社会の実現を目指し、猫を取り巻く医療や社会の課題を、研究者・臨床獣医師・産業界・行政・保護団体などが分野を超えて前向きに語る場として、これまでに2回「ねこのフォーラム」を開催してまいりました。

また、飼い主様や獣医療の研究者の方々向けへの情報発信を行い、広く猫関係者の交流を促すとともに、これらの取組を通じてそれぞれの領域への還元効果も期待されます。

さらに、11,000の動物病院ネットワークを有する動物病院向けメディアであるAnimal Hospital HEADLINE News や、獣医師・愛玩動物看護師が登録する求人・承継情報サイトE-Animal Hospital とも連携し、獣医療業界への積極的な情報発信を行っております。

ねこのフォーラムの詳細はこちらの公式サイトからご覧ください

→ <https://nekonoforum.com/>



※フォーラムサイトのイメージです。

### ■ 第1回ねこのフォーラム

日時：2024年3月23日

場所：奄美大島 アマホームプラザ



概要：世界自然遺産・奄美大島における猫の適正飼育、ノラネコ・ノネコ対策、保護猫活動をテーマに、奄美猫部様・国際動物病院連盟（IAHF Japan）様・ナショナルパークスジャパン様等の登壇により報告・議論を行いました。

URL：<https://nekonoforum.com/forums/1>

### ■ 第2回ねこのフォーラム

日時：2026年1月7日

場所：高輪ゲートウェイシティ POSTUDIO



概要：「人と猫の共生する未来」をテーマに開催。アイシア様・JR東日本様・マルハニチロ様・環境省様等との協力のもと、ネコノミクス市場や愛玩動物看護師の職域拡大等について講演・パネルディスカッションを行いました。

URL：<https://nekonoforum.com/forums/2>

### ■ 第3回ねこのフォーラム（予定）

日時：2026年秋

場所：都内



概要：主に獣医療に関する研究者の方々を対象とした内容を想定しており、本年秋頃の開催を予定しております。詳細が決まり次第ご案内いたします。

## 5. Animal Hospital HEADLINE News メディア概要



メディア名 : Animal Hospital HEADLINE News

運営会社 : アニマルホスピタルヘッドラインニュース株式会社

動物病院ランキングなどの動物病院業界や獣医療の最新の動向などに特化したニュースサイトを運営しているほか、日本全国 11,000 病院のネットワークを有し、3,500 の動物病院へのメール配信を行っている。本年 1 月には HTML メールへ移行し、よりわかりやすい情報発信が可能に。また、奄美大島で地域活性化に取り組む株式会社 TARGET JAMM と協力し、生態系保全と猫の適正飼養の啓発、保護猫活動を行う奄美猫部の活動支援を行う。

## 6. 運営会社概要

社名 アニマルホスピタルヘッドラインニュース株式会社



Animal Hospital HEADLINE News

本社 神戸市東灘区御影 3 - 2 - 1 1

URL <https://ahhd.jp/>

設立 2020 年 8 月 11 日

発行済み株式数 102,200 株

資本金 1,413 万円

代表取締役 小澤 智雄

取締役 吉田 浩一

辻 建三

事業内容

- ・動物病院向けメディア事業
- ・動物病院支援事業
- ・獣医療の DX 事業
- ・キャット経済圏関連事業

## 7. 本リリースに関するお問い合わせ先

ねこのフォーラム実行委員会事務局（アニマルホスピタルヘッドラインニュース(株)内）

連絡先 : [info@ahhd.jp](mailto:info@ahhd.jp)